

もっと! みはらトピックス



▲ 誘引を学ぶ参加者(左)と実演するJA職員(右)

JA竹原支店ふれあい委員会は6月24日、地域住民を対象にミニトマトのプランター栽培体験を開きました。JAを身近に感じて

プランター栽培初企画

交流通じてJA身近に

らおうと初めて企画し、交流を通じてファンづくりにつなげます。当日は、JAの営農指導員が土づくりや支柱立て、誘引などを実演し、収穫までの管理を説明。参加者15人が一連の作業を体験し、自分のプランターを持ち帰りました。
参加した三宝佐千子さんは「野菜作りに興味があったので良い機会だった。教えてもらったことを参考に大切に育てていきたい」と話しました。
JA竹原支店の高下昌宏支店長は「交流の場として活動を続け、地域の活性化にもつなげたい」と話しました。



ナス共同販売へ 農業塾開講



▲栽培管理を学ぶ受講者

三原市で5月30日、「なす農業塾」を開講しました。共同販売を目指す

農家6人が参加。作業時期に合わせた講義や圃場での実習を通して栽培知識の習得と技術向上を図ります。初講義では、JA三原西アグリセンターの扇谷大樹営農指導員がナスの生産・販売状況や、栽培特性、収穫までの管理などを説明。実習では、芽かきや誘引、整枝方法などの管理について確認しました。
扇谷営農指導員は「分かりやすく基本を押さえた講習で生産者の育成に努める。受講者同士で栽培状況を共有しながら共同販売を目指して取り組んでほしい」と話しました。



▲特産ジャガイモ「マルヨシ」を収穫する池森さん



特産ジャガイモ「マルヨシ」

肥大良好

竹原市吉名町で6月上旬、特産ジャガイモ「マルヨシ」の収穫が始まりました。品種は「デジマ」で、きめ細かく弾力のある肉質と甘味が特徴。今年、春先の低温により生育が遅れ気味でしたが、その後の好天により大玉で良好な仕上がりとりました。出荷は7月7

日から始まり、約40戸が7月下旬までに13tを出荷する予定です。同町で「マルヨシ」を栽培する池森さんは、「栽培から収穫、出荷まで手間を惜しまず丁寧な作業を徹底している。是非多くの人に食べてもらいたい」と話しました。



深町特産の桃 良質な仕上がりに



▲深町特産の桃を丁寧に選果する為清会長

三原市の深町落葉果樹生産組合は6月28日、桃の出荷を始めました。今年、適度な降雨と梅雨明け後の好天により肥大や増糖、着色が順調に進み、良質な仕上がりに

りとなりました。同日出荷した「さくひめ」から順に、「あかつき」「なつおとめ」と8月上旬まで出荷が続く予定です。
「さくひめ」は果汁を多く含み、同時期の早生種より糖度が高いのが特徴。安定した開花と果実生産が見込めることから2020年より試験的に栽培を始め、今年度新たに出荷を始めました。
同組合の為清隆美会長は「管理の徹底により美味しく美しい桃に仕上がったので是非食べてもらいたい」と話しました。



水稲

収穫に向けて仕上げの時期になりました。良質な米を生産するには、収穫までの水管理と適期収穫が重要になります。

【収穫前まで水管理】

早期の落水に注意しましょう。落水時期は出穂後30日頃が目安ですが、水持ちの悪い水田(砂地など)では、収穫作業に支障がない程度まで遅らせましょう。落水時期が早いと玄米肥大が悪く、収量・品質が低下してしまいます。

また、台風などで乾燥した強い風が吹く場合は、急激な水分消費を防ぐため、湛水状態にしましょう。

【収穫適期】

収穫適期は品種や圃場条件などによって異なります。出穂後の積算気温(日平均気温の積算値)で予測しながら、最終的には実際に籾の色を見て判断しましょう。黄化した籾が90%程度の頃が収穫適期です。

葉色は、品種や出穂時期によって異なります。特に「恋の予感」は収穫適期になっても長い止葉に青みが残るため、収

穫が遅れないように注意しましょう。収穫が早いと青未熟粒が多くなり、収量・品質が低下します。また、籾の水分が多いため、乾燥時間や経費が増します。収穫が遅いと胴割米や茶米が多くなり品質が低下します。特に「あきさかり」は胴割米の発生が多くなりやすいので注意しましょう。

【積算気温の目安】

早生品種	950~1,000℃
中生品種	1,000~1,050℃

【籾の色イメージ】



黄色の籾が90%程度

【水稲生産履歴提出のお願い】

JAひろしまへの米の出荷・乾燥施設利用時には、水稲生産履歴の提出が必要です。「稲作ごよみ(p.39)」に付けてありますので、各窓口への提出をよろしくお願いいたします。

柑橘

今月は年間で最も気温が高く、降水量も少なくなりやすい時期となります。暑い中での作業となりますが、先月に引き続き摘果作業を進めてください。中晩柑類は基準よりも多く着果し

表2：中晩柑時期別肥大基準

品 種	葉果比	収穫時の階級	単位：mm			
			7/30	8/10	8/20	8/30
ネーブル	80~100	L	40	45	50	55
八 朔	80~100	L	48	54	60	65
伊 予 柑	80~100	L	46	51	56	61
甘 夏	80~100	L	50	57	64	69
しらぬひ	100	2 L	48	53	57	61
は る み	80	L	36	41	45	49
は れ ひ め	70~80	L	33	38	43	48
は る か	70~90	L		41	46	51
南 津 海	30	M			31	36
レ モ ン	30	年内M	34	36	38	40

表1：温州みかん時期別果実肥大基準 (S級になる大きさ)

品 種	時 期	単位：mm			
		7/30	8/10	8/20	8/30
極早生		38	42	45	47
早 生		30	34	38	42
いしじ		33	36	39	42

ている場合は再度摘果を行ない、適正葉果比に仕上げましょう。温州みかんは着果量が多い樹から優先して内なり果、裾なり果を中心に荒もぎ摘果を行なってください。

落葉果樹

今月は高温乾燥で推移する傾向にあります。雨が少ない場合は高温乾燥対策を徹底します。また、引き続き暑い中での農作業のため体調管理には十分注意し、こまめに水分補給し熱中症にならないように注意しましょう。

農作業の際の熱中症対策

- 日中の気温の高い時間帯をさけて作業を行なう。
- こまめな水分補給、休憩を心掛ける。
- 空調服など熱中症予防グッズを活用する。

干ばつ対策

- 地表面からの蒸散を防ぐため、敷ワラ(敷き草)や堆肥の施用を行なう。
- 草生園では、水分競合や蒸散による水分消費をできるだけ少なくするため園内の雑草は刈り取り敷き草とする。
- 灌水施設のある園地は、灌水を早朝か夕方気温の低い時間帯に行なう。傾斜地などの園地では、一度に大量の灌水を行なうと表面流去が多く、効果が劣るため1回あたりの灌水量は少なくして間隔を短くする。水量が十分でない場合は根の多い部分に灌注器などを利用して集中的に局部灌水を行なう。

収穫・選別作業について

● 収穫

モモは品種によって先月から収穫が開始されていますが、今月からブドウやイチジクの収穫が開始されます。収穫は、品目や品種ごとの着色や糖度など品質状況を確認し開始します。ただし、近年の異常高温により果実内容が仕上がっているにもかかわらず、着色が鈍いため過熱になる場合もあるので注意が必要です。色だけではなく、食味等をチェックしながら収穫を進めましょう。そして、収穫後の棚持ちや品質を維持するため、果実温の低い早朝に収穫することがのぞましいです。

高温による果実品質への影響：着色遅れ、日焼け、ヤケ熟れ(写真)、過熟



イチジク(蓬菜柿)のヤケ熟れ果...口が開かず熟れ、食味も劣る。

● 選別

選別作業は、収穫した後に腐敗につながるような傷、病害虫被害の程度や果実の熟度等を確認し商品性の高い果実に揃えます。選別作業をする際も、果実温度が上がりにくい涼しいところで選別します。

収穫や選別の際は、果実を傷つけないように丁寧に扱います。

枝管理(枝抜き、副梢の管理)、摘果

引き続き発生状況を確認しながら、込み合っているところの枝の間引きや、副梢の管理(摘心や除去)を行います。また、カキは引き続き商品にならない変形果や病害虫被害果等を摘果します。

注意する主な病害虫

果樹全般：ハダニ類
カキ：炭疽病、うどんこ病、カキノヘタムシガ、カメモシ類 等
※農薬散布する際は、必ずラベルを確認し記載されている登録内容を確認して行なってください。また、農薬散布の際は農薬飛散(ドリフト)に注意しながら実施します。

家庭菜園

夏野菜の収穫が始まって約2カ月が経過しました。夏野菜は長いもので十月頃まで収穫が続きますが、八月下旬からは秋冬野菜の播種が始まります。この時期は、気温が高く乾燥しやすいので夏野菜の播種と比べて難しいといわれています。今月はそんな秋冬野菜の播種時において特に注意することについてご紹介します。

発芽適温

野菜の種類・品種によって発芽適温は異なります。秋冬野菜の多くは15〜25℃くらいが発芽適温となります。

いることが多いです。しかし、昨年のように八月中旬から九月下旬まで非常に気温が高い日が続くことを踏まえて、野菜の種類・品種の適温に播種できるようにしましょう。

灌水(水やり)

播種時に最も重要なのが灌水です。発芽には多くの水分が必要なので、こまめな灌水を行なってください。水分の蒸散を防ぐため、不織布や新聞紙などでべた掛けを行なう時に気温が高過ぎると発芽適温を外れてしまいます。その場合は、べた掛け資材を外し、風通しの良いところでもまめな灌水を行なうようにしましょう。

セルトレイで育苗を行なう場合は、乾燥しやすいので、直播よりも水管理は気を付けてください。市販の培土の多くは水分率が30%になるように過湿し袋詰めされています。一度乾燥すると水を弾きやすいので、乾燥しないように管理しましょう。

コート種子も一度乾燥するとコーティングが固まり発芽しにくくなるので注意してください。

培土

セルトレイ・ポットに培土を入れる時は、土を詰めてからトレイなどをトントンしてしっかりと詰めるようにしましょう。また、発芽する栄養分は種に蓄えられているので培土に肥料は必要ありません。それに、発根直後の弱い根に肥料が当たると「肥焼け」の原因となり、生育が悪くなったり枯れたりすることがあります。

す。一般的な野菜用の培土か畑の土を使用してください。しかし、育苗期間が長期にわたる場合や、本葉が2〜3枚展開した際には葉色などを見ながら追肥を検討するようにしてください。



底面が空気に触れるように置きましょう。

25cm以上の加台

エア・フローリング

▶ Information お知らせ

もっと! みはらニュース!

6/22 遊休農地で農園開設
「ひまわりファーム」

久井町農業集団組織連絡協議会は、遊休農地を活用し、地域農園「ひまわりファーム」を開設しました。6月22日には野菜の定植体験を開き、親子20人がサツマイモの苗や落花生の種を定植。JAでは、支店協同活動の一環として栽培管理などの支援を行なう他、収穫体験にも参加する予定です。



かがやき通信 女性部活動

6/26 視察研修

JA女性部員34人が江田島へ行き、産直市や紙布工場を見学。地域の特産品や伝統産業について学び、部員同士の交流を深めました♪



みてふれて 展示・販売会

JAせとだアグリセンターで6月20、21日、展示販売会を開きました! 農業用資材や柑橘加工品などを特別価格で販売し、多くの地域組合員にご来場いただきました♪



みかんジュースの試飲やアイスの販売も行ないました♪

9月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。ご了承ください。

【アグリセンターの休日】

三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【営業時間】

8:30~17:00

【年金相談会 開催時間】

10:00~16:00

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
					三原西	三原 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原						三原西	三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原	三原 本郷 鷺浦 竹原				年金相談会 せとだ支店	三原西	三原 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原		三原 三原西 本郷 鷺浦 せとだ 竹原				三原西	三原 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原		※棚卸

●三原西ACは8~10月の間、休業日を土曜日とさせていただきます。
※棚卸業務実施のため店舗を閉店します。ご了承ください。